

# 生徒達からの感想

プレマメッタスクールとのオンライン交流を終えて、参加した生徒から多くの感想が寄せられました。そのうちのいくつかを、抜粋して紹介します。

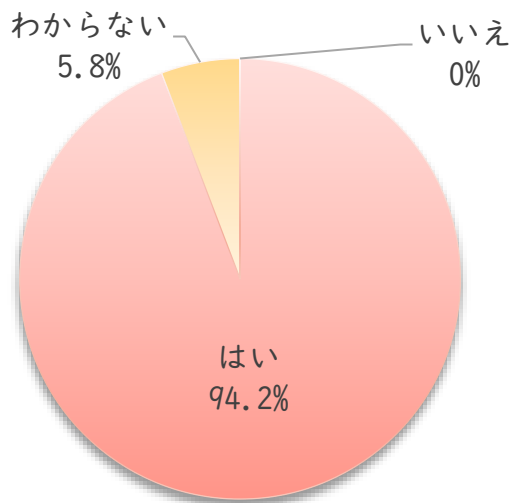
## 1. お話を聞き、印象に残ったことは何ですか？

- コロナの中で休校していますが、オンライン授業がないのが印象的でした。ロックダウン中で学校に行けない状況が続いてもみんな元気いっぱい可愛かったです。(1年M. Cさん)
- インドの子供は全員が学校に通えているわけではないことや、カーストがいまだに残っているということ(1年A. Hさん)
- 現地の子供達が凄く興味を持って質問してきてくれたり、朝8時から集まってくれたりしたのが嬉しかった(2年A. Tさん)
- アヌープさんが学校を開いた年齢が、今の私たちと同じで驚きました(2年Y. Nさん)
- 女の子や、カーストの下の方の人たちは勉強できないこと(2年S. Aさん)
- 同じ『女性』なのに、国が違うだけで扱われ方が異なるということ。自分の年齢(誕生日)がはきりとわかっていないこと。(1年Y. Yさん)
- 今コロナというウイルスのせいで子供達が学校に通えていないということを知り、コロナ対策をしたくてもマスクを買うお金がなく対策ができず、いつ感染してしまうか、いつ誰かにうつしてしまうかが分からなくて怖い毎日を送っていることを知りました。オンラインで自宅学習にするという選択を取ったとしても、インターネット環境がなく、オンライン授業をすることができない状況だそうです。やりたいことができない状況ですが、笑顔でとても幸せそうに見えました。こうした人たちの助けに少しでもなれるような人になりたいと思いました。(1年K. Nさん)

## 2. お話を聞き、感じたことや考えたことは何ですか？

- 共感することが多くて聞いていてとても悲しくなりましたが、女の子達とお話できてとても楽しかったです。(2年J. Pさん)
- インドだけでなく、インドと同じように感染予防をしづらい国もほかにあるはずなので、ボランティアなど、助けられることが私にあればやりたいです。(2年S. Pさん)
- 必ず成功すると言える環境ではない中での学校を作り上げるという膨大な夢を叶え、1人でも多くの子供を支援するという考えに、私だったら途中で諦めてしまうだろうなと思いました。ただでさえ人口が多く貧しい中なのに、この新型コロナウイルスによりさらに大変な状況が続いていると思います。ですがそこで諦めるという考えは全くないかのようにただまっすぐ前だけを見る皆さんに感化されました。(2年M. Sさん)
- 日本では学校が当たり前だけど、インドでは学校に行かれない子ども達がまだいることを知ってびっくりした。(2年A. Sさん)
- オンライン授業をできていることが当たり前じゃないのだと思った。(2年K. Eさん)
- 私が今、普通に学校へ通いながら沢山のことを学べているということは恵まれている環境なのだと感じた。(1年Y. Yさん)
- 異国の地なのであまり身近に感じる事がなかったが、今回身近に感じる事ができた。また、日本の環境は本当に恵まれているなど改めて感じる事ができた。(2年N. Hさん)
- 女の子だとわかると殺してしまう可能性があるから伝えてはいけないというのは、すごく残酷で悲しいことだと思った。(2年H. Mさん)
- 貧富の差が目に見えてわかる国が今の時代にあり、それを当たり前のように受け入れている現地の人達がいることを目の当たりにした。自分たちとは境遇が違う中で、医者という職業になりたいなどの夢を持っていて、とてもかっこいいと思った。(2年S. Hさん)

### 3. 今後、こうした海外とのオンライン交流授業に参加したいですか？



また、「お話を聞き、自分にできることは何でしょうか？」という問いには、

- 募金をする
- ボランティアに参加したい

…という回答が大変多く見られました。

他にも、

- 学んだことを多くの人に伝えていきたい
- 世界についてもっと知りたい
- 異なる文化や習慣、民族はたくさん存在するので、それらを尊重していきたい
- これからはものを大切にしたい

…といった意見も多く寄せられました。



国際キャリアコースの中には、海外出身の生徒も多くいます。そうした中でも、まだまだ自分たちの知らない世界があったことを実感したようでした。また、募金活動やボランティア活動など、自ら何か行動に移そうという、生徒たちの積極性や自発性に感銘を受けました。

今後もオンラインを活用しながら、異文化交流の機会を提供していくとともに、今回の経験や学んだことを、今後につなげていければと考えています。